

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	妊婦・乳児個別健康診査事業			
■評価事業コード	040200 - 046	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	01 子育て環境の充実		
	■施策	06 母子の健康の確保及び増進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	母子保健法 次世代育成支援対策推進法			
■関連計画の名称	北上市健康づくりプランはつらつ北上21、きたかみ子どもプラン、北上市障害者プラン			
■事業の概要	妊娠中の異常を早期に発見し母体の保持増進を図る。乳児期に疾病や障害を発見するとともに、子どもの健康を把握し、親が安心して子育てをすることができるようにする。妊婦・乳児一般健康診査票を交付し、健康診査を医療機関に委託実施する。(妊婦～子宮頸がん検診1枚・妊婦健診14枚 乳児健診3枚)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	妊婦健康診査事業	妊婦	・子宮頸がん検診(一人1枚発行)□使用率 98.5%□付者(枚)数 830人□一般健康診査票(一人14枚発行)□使用率 75%□交付者数 880人	・子宮頸がん検診使用率 99.2%□付者(枚)数 761人□受診者(枚)数 755人□何らかの処置あり 延26人□一般健康診査受診票使用率 78.7%□付者数 822人□付枚数 11,137枚□用(受診)枚数 8,760枚□宿所見者件数 延970件
02	乳児個別健康診査事業	乳児	乳児一般健康診査票(一人3枚発行)□使用率87%□交付者数 860人	乳児一般健康診査票使用率 83.2%(仮) □付者数 893人(仮) □付枚数 2,605枚(仮) □用(受診)枚数2,168枚(仮) □宿所見数 133件(仮)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	74,769	75,261	78,404	75,286	
人件費	4,623	3,619	7,329	5,278	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	79,392	78,880	85,733	80,564	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	妊婦一般健康診査受診票使用率	75.8%	74.8%	80.4%	78.7%	使用率は、年度使用枚数/年度交付枚数。
02	乳児一般健康診査受診票の使用率	83.1%	86.6%	83.2%	90.7%	使用率は、年度使用枚数/年度交付枚数。
03	周産期死亡率	7.3	2.5	3.6	未確定	妊娠22週以降の死産数+早期新生児死亡数(生後1週間未満の死亡)÷出産(出生+妊娠22週以降の死産)数×1,000
04	妊婦使用率1%あたりコスト	690.9	704.9	533.2	544.7	(フルコスト/2)÷使用率
05	乳児使用率1%あたりコスト	574.8	525.9	515.2	472.6	(フルコスト/2)÷使用率

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>H23年度から県外医療機関受診に対して償還払いも対応。妊婦一般健康診査票については、流産や予定日前の出生により使用率は80%以下になっている。乳児一般は、1か月健診時は受診率95.3%と高いが1歳児健診時は83.0%と低くなっているため、受診勧奨に努める。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>平成24年度で妊婦健診の補助金中止。財源なし。</p>
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 事業廃止の影響</p> <p><input type="radio"/> 大きな不利益やリスクが生じる</p> <p><input checked="" type="radio"/> ある程度の不利益やリスクが生じる</p> <p><input type="radio"/> 不利益やリスクは小さい</p>	<p>3. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>
<p>4. 事業へのニーズの変化</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>5. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>6. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>7. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>8. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>9. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>
<p>■今後の方向性</p> <p><input type="radio"/> I. 拡充</p> <p><input checked="" type="radio"/> II. 継続</p> <p><input type="radio"/> III. 縮小・要改善</p> <p><input type="radio"/> IV. 民間活用・協働事業化</p> <p><input type="radio"/> V. 廃止・休止</p> <p><input type="radio"/> VI. 完了</p>	<p>補足説明</p> <p>県内同じように事業を進めていく必要がある。</p>	